



愛知県民主医療機関連合会

# コロナ影響アンケート

日時：2021年2月24日(水)11:00～

場所：愛知県庁 記者クラブ

## 目次

アンケート結果まとめ .....	2
アンケート単純集計表 .....	25
アンケート記述集計 .....	32

### ◇参考資料

全日本民医連コロナ禍を起因とした困窮事例中間とりまとめ .....	56
同上調査 愛知県事例 .....	59

---

### 用語解説

○愛知県民主医療機関連合会…全日本民医連(<https://www.min-iren.gr.jp/>)に加盟する、愛知県の11法人で無差別・平等の医療・介護・福祉の実現に向け活動。医療と介護の質の向上、社会保障の充実を目指す運動に、患者・利用者さん、地域の皆さんと共に取り組んでいます。

職員数 : 2,276名(2020年10月1日現在)

ベッド数 : 1,957床(介護施設含む)

共同組織 : 212,947名(2020年3月。各法人の健康友の会員、生協組合員など。地域で医療・福祉・暮らしを守る住民組織であり、民医連の事業と運動を支えるパートナー)

### ○無料低額診療事業(無低診)とは

◇医療や介護が必要であるにも関わらず、経済的な理由により支払いが困難な方に対し、無料または低額な料金で医療や介護を行う事業です。事業所管轄自治体と相談の上、各事業所が一部負担金免除の基準を定め行っています。

◇利用にあたっては、担当する職員(ソーシャルワーカーなど)がお身体や生活の状況を伺います。また、今後の公的な制度の活用も含め相談を行います。

**コロナの影響、通院控えが2割弱、感染を恐れPCR拡充を求める方が8割以上**

この度、愛知県民主医療機関連合会(事務局名古屋市 会長 早川純午)が、新型コロナが市民生活にどのような影響を及ぼしているかを確かめることを目的に「新型コロナ影響アンケート」を行いました。回答していただいたのは各法人事業所を利用の患者・利用者など総数 918 名。

生活への影響では、感染対策・自粛の回答が多数あり、政府の要請に応じていることは明らかとなりました。その一方、「運動不足・体力が落ちた」方が 28.7%、「ストレスを感じる」24.7%と心身に負担が増え、実際に 1 割前後で影響が出ていることも示されています。

医療機関への通院の変化として、約 5 分の 1 の方が減少と回答しており、理由として新型コロナウイルス感染を恐れてという回答が多数でした。

アンケート対象が医療機関等の利用者中心かつ 70 代・60 代で 78.5%であるため、全体では 76.0%で収入減少が無いという結果となったが、給与所得者が 3 割、パート・アルバイトで 5 割、自営業者で 4 分の 3 の方が減少と回答した。また同じ順で「やや減少」より「減少」が増加しています。

支出は 4 分の 1 で増加していて、楽しみのない中、家での食事を充実させて支出増加との回答も見られた。ステイホームの中で、水光熱費の増加を挙げる方や感染対策の品目購入で費用増加との回答も多数ありました。

困りごと・心配事として「外出時の感染の恐れ」が 85.2%とほとんどの人が回答。また、74.7%が「自分・家族の感染した際の対応」を挙げており、感染への強い不安が示される結果となりました。支援して欲しいことでは「誰でも、いつでも、何度でも、無料」の PCR 検査の実施が 83.0%、自分や家族が感染した時の支援が 75.4%と感染症対策を求める声が多くなりました。

第三波と言われる感染拡大の中、医療機関の状況もひっ迫しています。現在も政府・県・自治体が感染拡大に対応していますが、保健所を通すことや自治体負担があることから十分な検査が行われていません。改めて感染を食い止めるために、PCR 検査の拡充し、陽性者の保護が必要です。また、陽性確認者の 6 割を占めると言われる医療・介護・福祉施設での社会的検査の実施が必要です。国が PCR 検査費用の全額を負担し、国・県・自治体がこの方向に舵を切ることを求めます。

本件に関するお問い合わせ

○愛知県民主医療機関連合会

TEL:052-883-6997 FAX:052-889-2112

住所：〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-3 労働会館 303

愛知県民主医療機関連合会

# コロナ影響アンケート

約5分の**1**で通院控え。

感染を恐れ、PCR拡充を求める人が共に

**80%以上**



# アンケートの概要

実施期間：2020年10月1日～12月31日 3か月間

実施事業所：愛知民医連加盟事業所

集計数：有効回答数 9 1 8 件

報告数：北医療生協(256)、医療法人名南会(341)、医療法人尾張健友会(184)、医療法人はみんぐ(99)、ファルマネットみなみ(38)





# アンケート内容

## 6つの内容と自由記載

### ④世帯の支出について

- ・支出の増減
- ・支出の増えた項目

### ⑤お困りごと・心配ごと

### ⑥支援して欲しいこと

## 自由記載

#### 世帯の支出について

Q7.新型コロナウイルス感染症による世帯での支出についてご回答ください。

- ①減った                      ②やや減った                      ③変わらない  
④やや増えた                      ⑤増えた                      ⑥わからない

Q7

Q8.支出が増えた主な項目についてご回答ください。

- ①食費                      ②日用品費                      ③生活雑貨                      ④教育費  
⑤水光熱費                      ⑥通信費                      ⑦その他( )

Q8

Q9.よろしければ、支出の変化について詳しく教えてください。

--

#### お困りごと・心配ごと

Q10.新型コロナウイルス感染症について、困っていること、心配な事について上位3つをご回答ください。

- ①PCR検査を受けられない                      ②マスクや消毒液の不足  
③外出時の感染のおそれ                      ④健康状態の相談先  
⑤自分・家族の感染した際の対応                      ⑥仕事を解雇され収入がない  
⑦会社が休業し、収入が減った                      ⑧自営業の売上減少と今後の経営  
⑨休校による子どもの心理的負担  
⑩その他( )

Q10

#### 支援してほしいこと

Q11.支援してもらいたいこと上位3つをお答えください。

- ①「誰でも、いつでも、何度でも、無料」のPCR検査の実施  
②マスクや消毒液の支給                      ③感染予防のための買い物支援  
④健康状態などの相談窓口の設置                      ⑤自分や家族が感染したときの支援  
⑥仕事の軽減など就労支援                      ⑦減少した収入の補填  
⑧減少した営業所得の補償                      ⑨子どもへの心理的なケア  
⑩タクシー助成などの移動支援  
⑪その他( )

Q11

ご意見・ご要望をお寄せください

--

ご協力ありがとうございました。

取り扱い事業所



# 回答者の居住地域(回答数760)

名古屋市	一宮市	岩倉市	江南市	春日井市
560名	52名	32名	27名	16名
73.7%	6.8%	4.2%	3.6%	2.1%

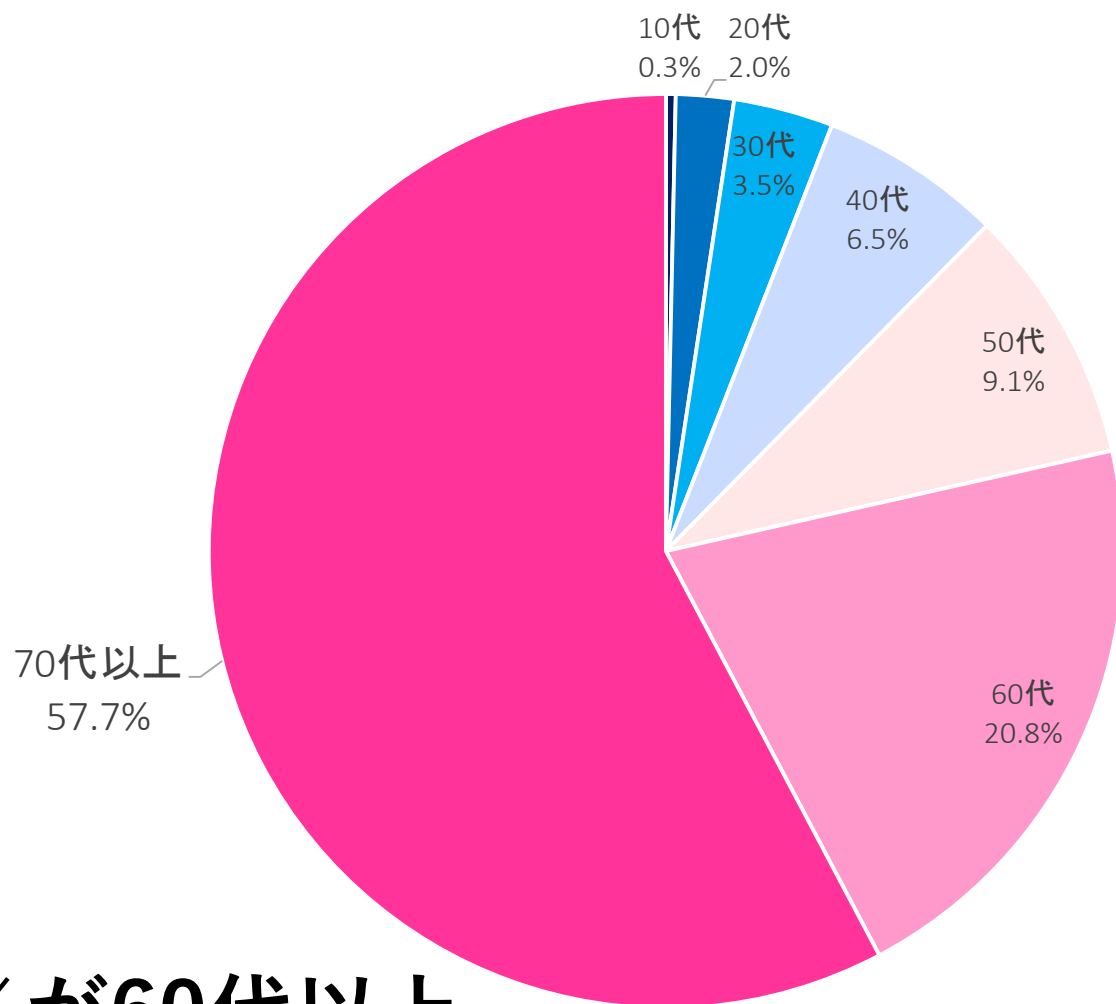
稲沢市	北名古屋市	扶桑町	尾張旭市	犬山市
14名	8名	8名	7名	6名
1.8%	1.1%	0.9%	0.9%	0.8%

東海市	津島・刈谷・小牧	豊田・常滑・大府・豊明	安城・知多・高浜・日清・愛西・清州・弥富・あま・蟹江
5名	各3名	各2名	各1名
0.7%	0.4%ずつ	0.3%ずつ	0.1%ずつ





# 回答者の年齢構成(回答数880)

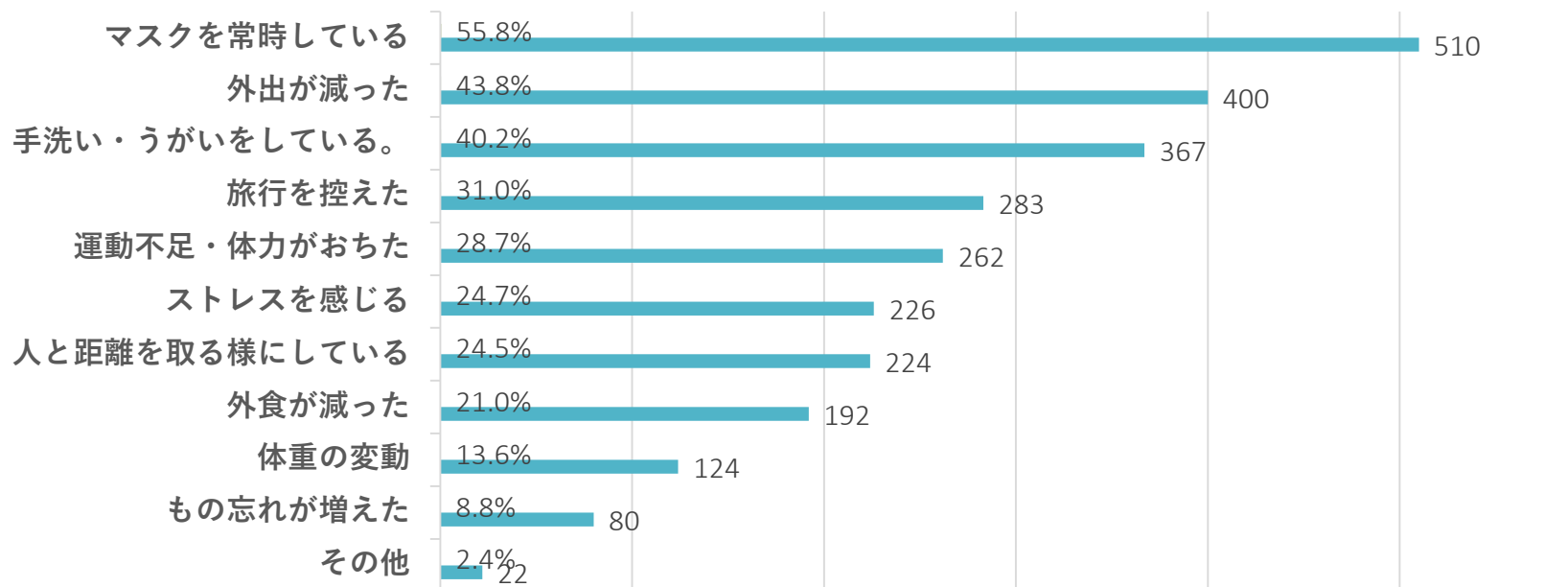


**78.5%が60代以上**



# 新型コロナの生活への影響

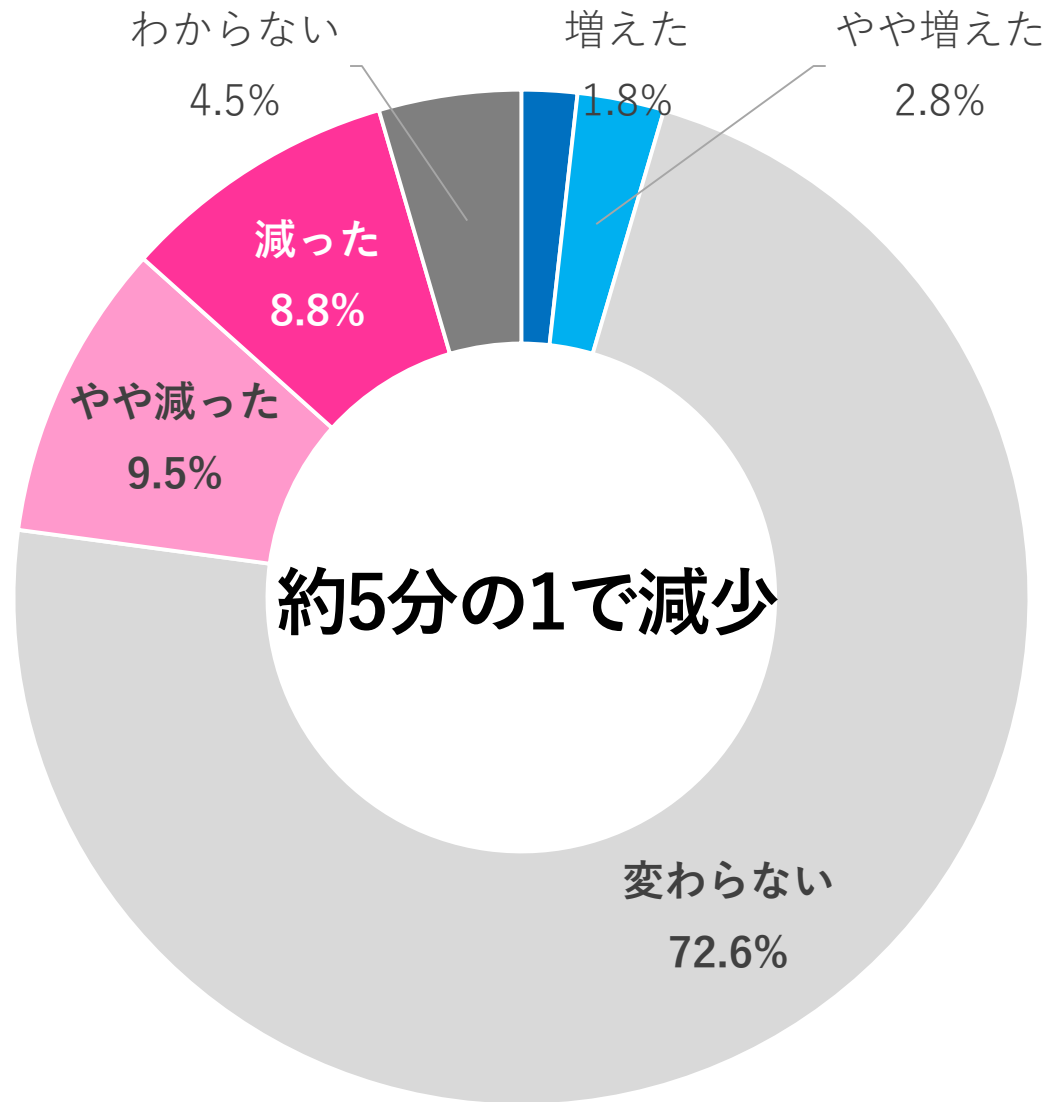
(3つまで選択、回答者数914、総回答2,690)



「マスク」「手洗い・うがい」「人と距離を取る」の感染対策系1,101回答、続いて「外出控え」「旅行控え」「外食控え」の自粛系875回答と多くの方が対策や自粛協力をしている。「運動不足・体力が落ちた」28.7%、「ストレスを感じる」24.7%と心身に負担が増えていることが示され、実際に体重やもの忘れなどの影響も現れていることが見て取れる。



# 通院の変化(回答数905)



# 通院減少の理由(自由記載より一部抜粋)

○感染が心配 との声が多数。

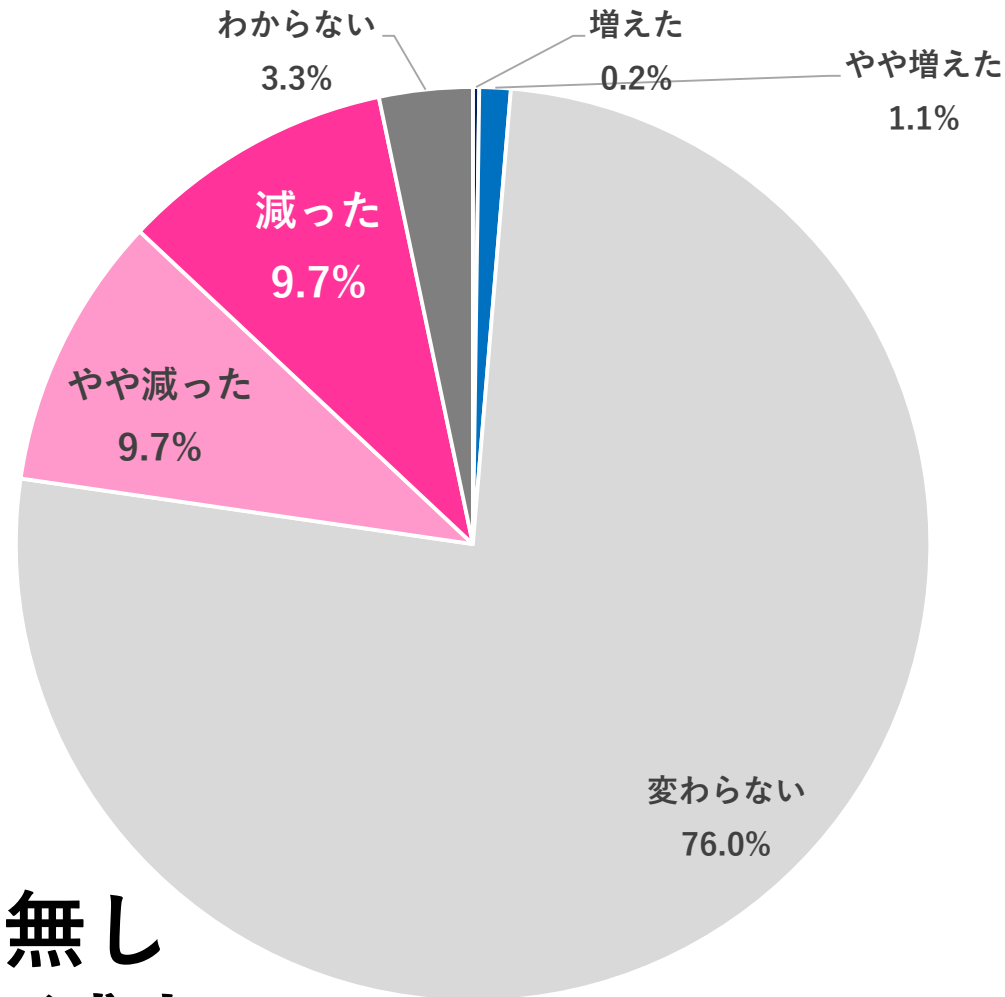
○新型コロナウイルスの感染を病院でもらってしまわないかと不安を感じる為通院が減ったと思います。自分自身もかかりたいと思ってもなかなか行くことが出来なかった。

○少々体調不良程度では受診しなくなった。持病の検査と処方箋目的のみになった。市販薬ですむものはそうしている。

○非常事態宣言から妻の精神的不安が増大し、引きこもり状態に悪化。その為自分もコロナで仕事が減った中、さらに妻の介護のため自ら仕事を減らした為。



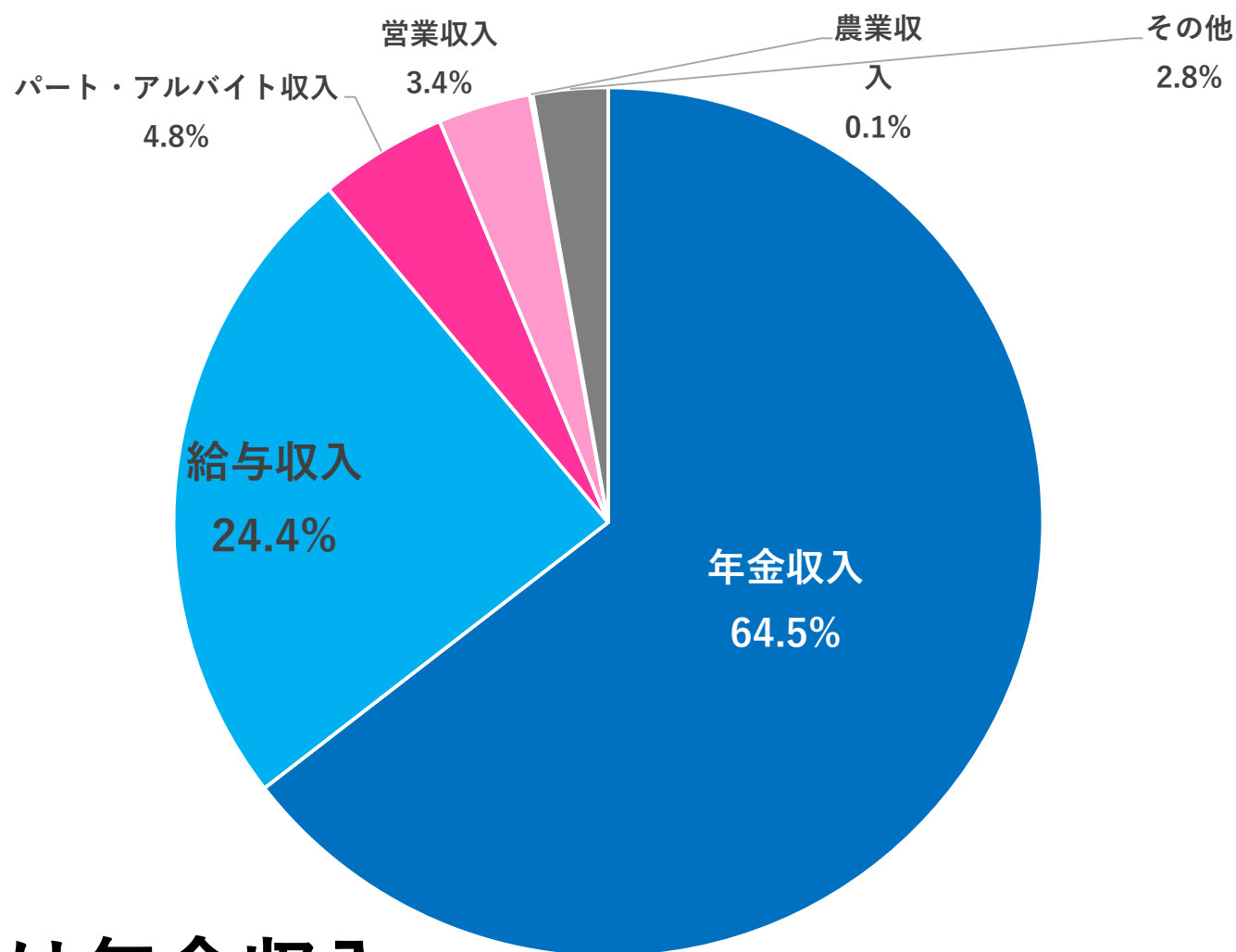
# 収入の変化(回答数907)



**76%が変化無し  
約2割の方は減少**



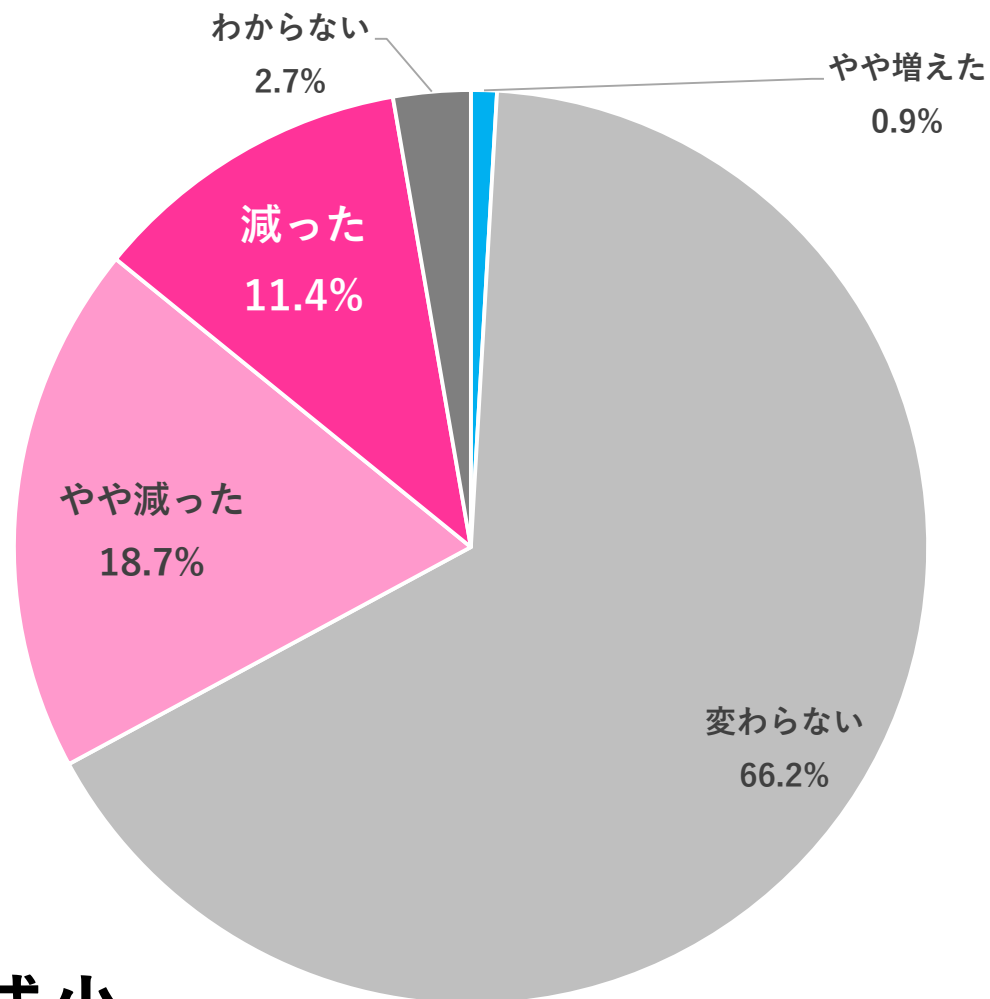
# 主な収入(回答数899)



**64.5%は年金収入**



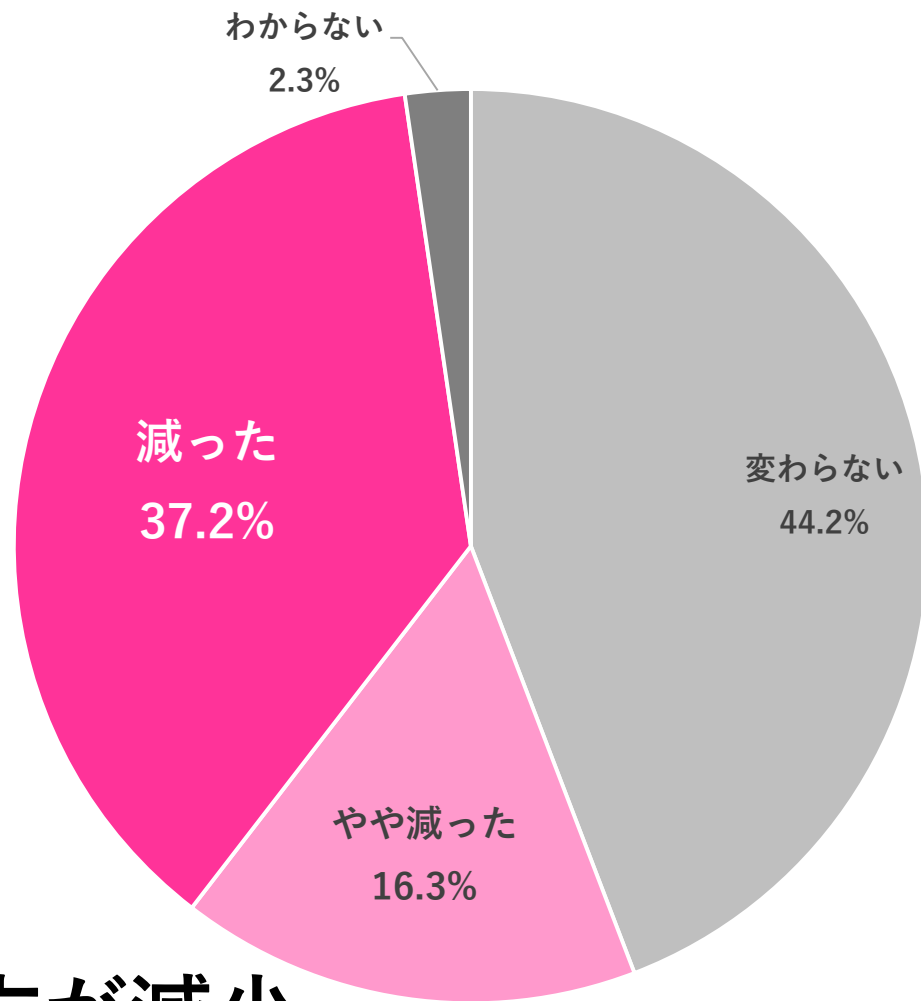
# 給与所得者の収入変化(回答数219)



**3割の方が減少**



# パート・アルバイトの収入変化(回答数43)

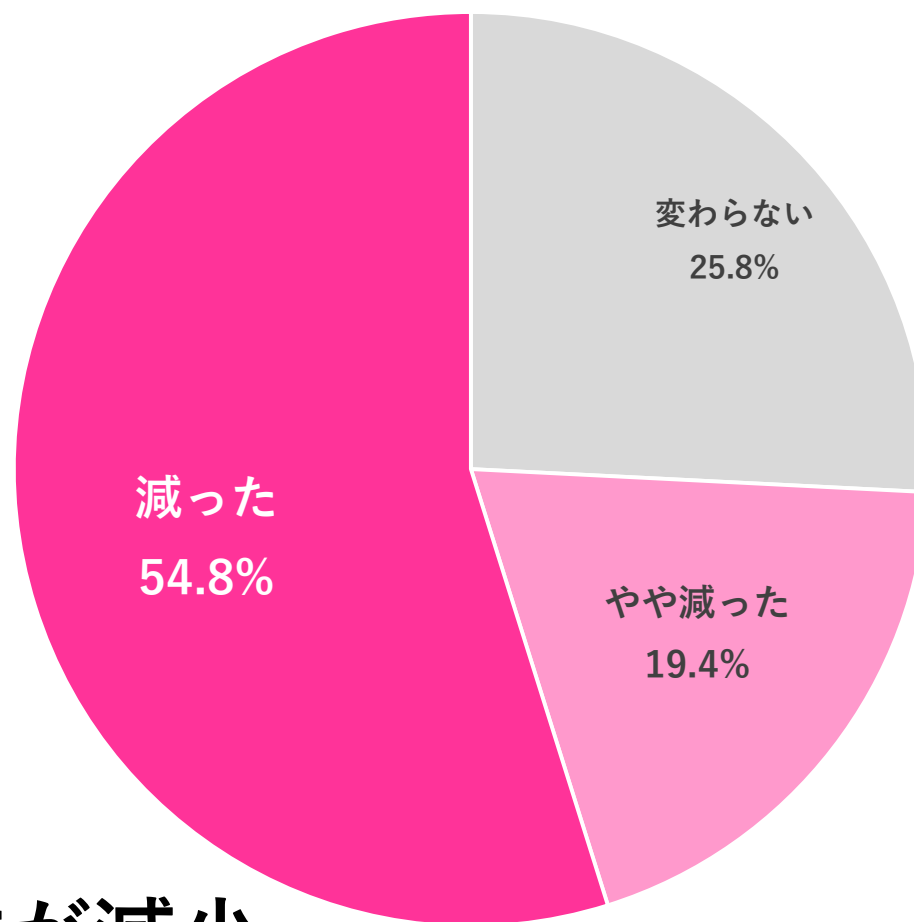


**5割以上の方が減少**





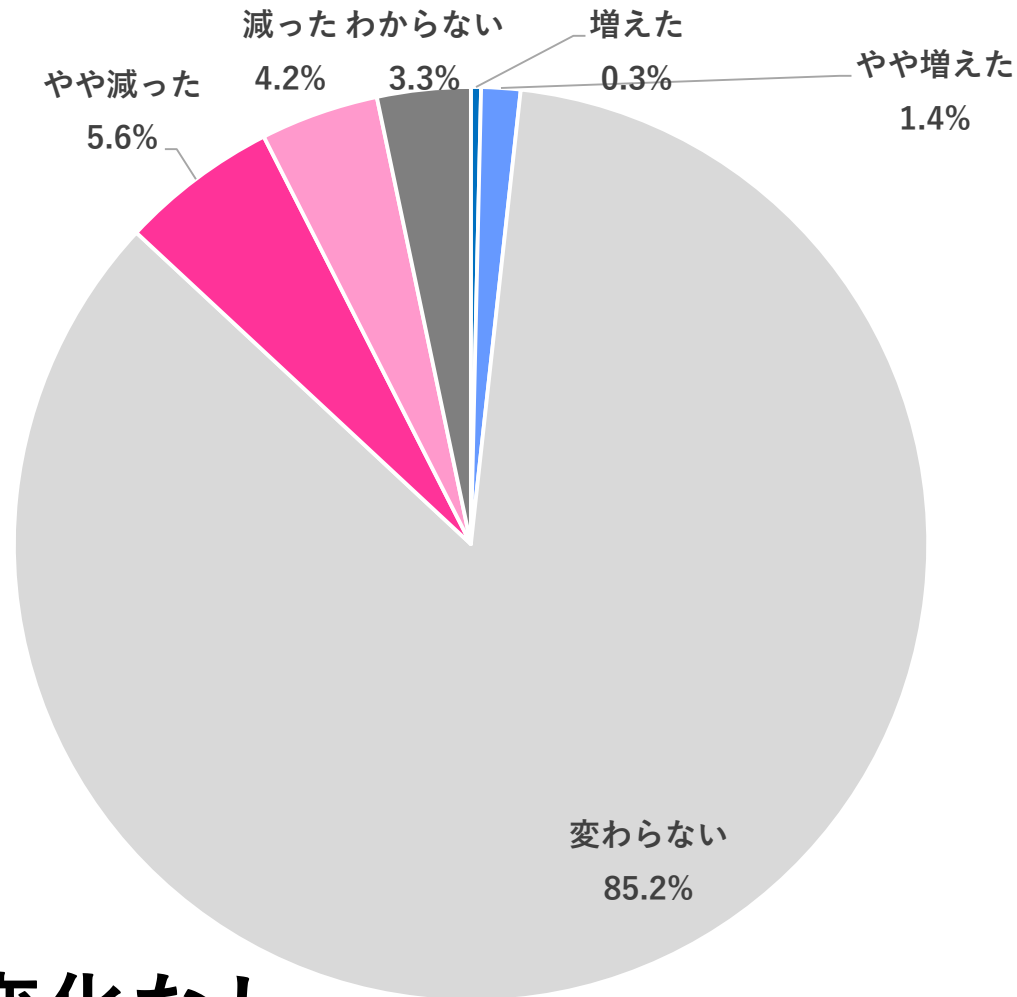
# 営業収入の方の収入変化(回答数31)



**4分の3の方が減少**



# 年金収入の方の収入変化(回答数580)



殆どの方で変化なし

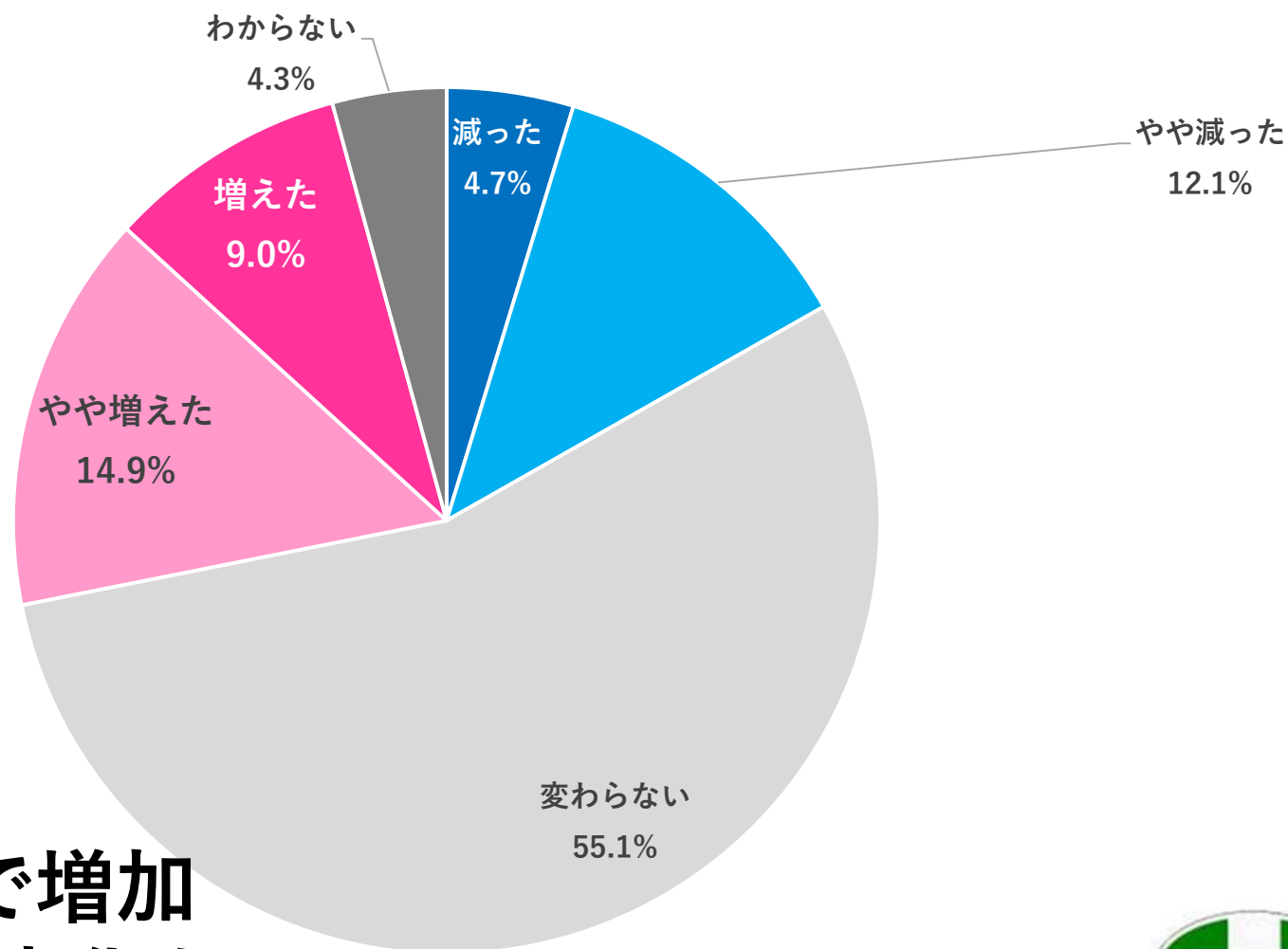


# 収入の変化について(自由記載より)

- 5月は保育園職場のパートをしているので仕事は0でした。(保護者に協力依頼をしていた為子どももすくなくなかった為)
- パート・アルバイトの人が少なくなり、仕事が増えたが収入は変化無し、もしくは少なくなった。
- コロナ禍のせいで、会社を解雇された。今は失業保険で何とか生活している。
- 孫がアルバイトをしていた。コロナでアルバイトが切られ、その分収入が減となった。
- たまたま自分は給与が定額のため減ってはいないが、先行きの不安感(国の施策への不満、不審など)があり、現在減った減っていないの問題だけではなかった。



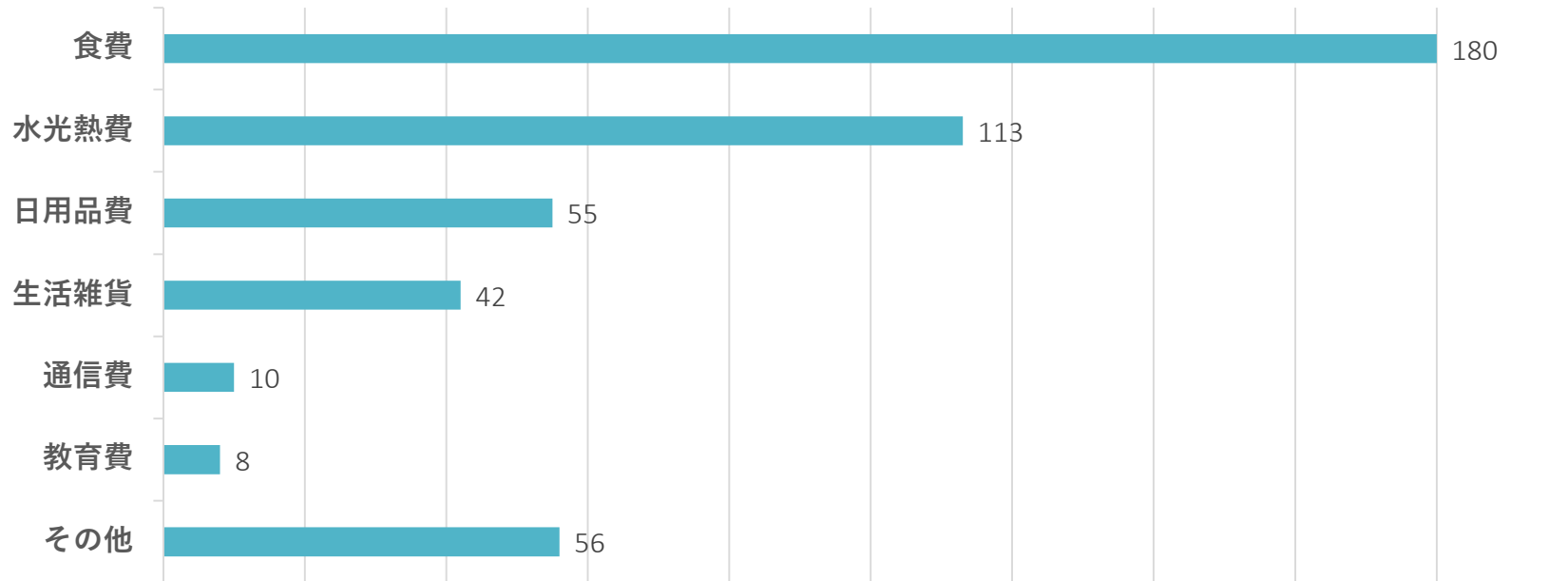
# 支出の変化(回答数846)



約4分の1で増加  
半数以上が変化なし



# 増えた支出項目(回答者数464)



食費の増加が180回答(38.7%)、水光熱費113回答(24.3%)、マスクや消毒用品などが日用品費や生活雑貨として計上されていて、97回答(20.9%)と上位を占めた。

一方、食費は外食の減少などで減ったという記述も見られた。感染対策の為のグッズ、自粛による家での水光熱費(エアコンや水道代など)での増加の回答が多かった。



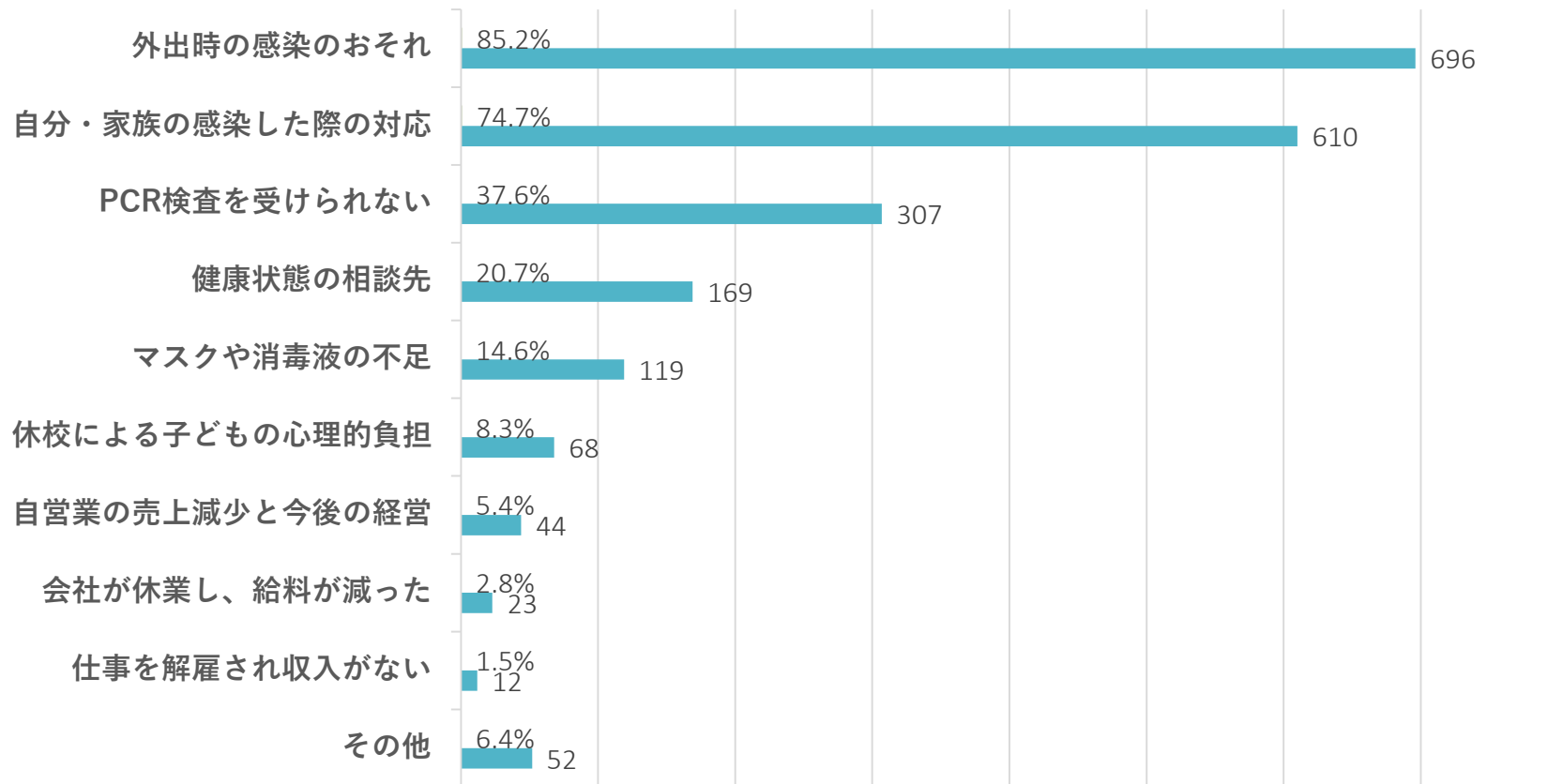
# 支出の変化について(自由記載より)

- 家にいる時間が増えて、冷房等の電気代が例年より約6割より増えた。
- 1人暮らしの子どもが学校が休校のため自宅に戻ったので食費、光熱費が増えた
- 学生がバイト出来ず、交通費、こずかい等全て親の負担に
- 外食することが少なくなり、家にいることも多くなったのでおやつ、食材の購入が多くなり出費が多くなった。
- コロナで外出もできず、夫と二人でケンカ！そして楽しみは食べる事。主人は酒、タバコの量が多く食費もかさみ、先行き不安、死にたい。



# 困りごと・心配ごと

(3つまで選択、回答者数817、総回答2,100)

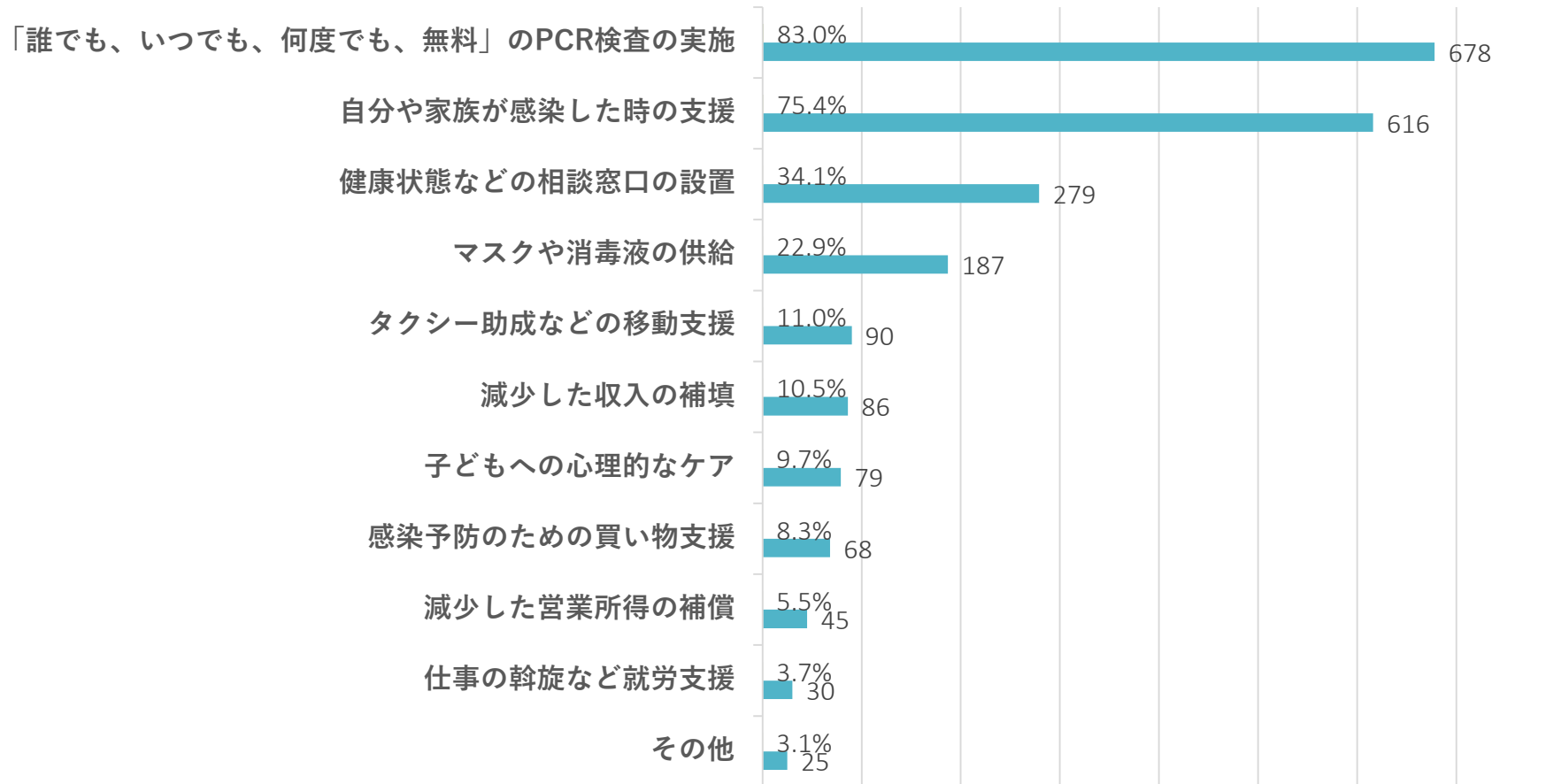


「外出時の感染のおそれ」が85.2%ほとんどの方が回答している。また、「自分・家族の感染した際の対応」が74.7%となっている。



# 支援して欲しいこと

(3つまで選択、回答者数817、総回答2,183)



PCR検査の実施を求める意見が83.0%、また感染した時の支援が75.4%という結果となった。





# ご意見・ご要望(自由記載より)

- コロナがいつまで続くか不安
- コロナのどさくさで一部の政治屋や大企業がコロナ対策費という名目で私服を肥やすのがいやです。
- GoToキャンペーン利用出来る人・事業所は恩恵があるが、そうでない人(キャンペーンに参加できないお店、経済的、健康面、等)には何もない。不公平に思います。
- 高齢者、医療、介護従事者のPCR検査を無料で定期的に行って欲しい。
- 日々コロナウイルスに感染してしまったらという不安をかかえて生活をしています。困ったときに相談ができてすぐに支援してもらえらるようにしてほしいです。



# まとめ

生活への影響では、感染対策・自粛の回答が多数あり、政府の要請に对应していることは明らかとなった。その一方、「運動不足・体力が落ちた」方が28.7%、「ストレスを感じる」24.7%と心身に負担が増え、実際に影響が出ていることも示されている。

医療機関への通院の変化は約5分の1の方が減少と回答しており、理由として新型コロナウイルス感染を恐れてという回答が多数であった。

アンケート対象が医療機関等の利用者中心かつ70代・60代で78.5%となった。そのため76.0%で収入減少が無いという結果となったが、給与所得者で3割、パート・アルバイトで5割、自営業者で4分の3の方が減少と回答した。

支出は4分の1で増加していて、楽しみのない中、家での食事を充実させて支出増加との回答も見られた。ステイホームの中で、水光熱費の増加を挙げる方や感染対策の品目購入で費用増加との回答も多かった。

困りごと・心配事として「外出時の感染の恐れ」が85.2%とほとんどの人が回答。また、74.7%が「自分・家族の感染した際の対応」を挙げており、感染への強い不安が示される結果となった。

支援して欲しいことでは「誰でも、いつでも、何度でも、無料」のPCR検査の実施と求めることが83.0%、自分や家族が感染した時の支援が75.4%と感染症対策を求める声が多数となりました。

